

【大阪教育大学】

オンライン研修実証実験：大阪市（429）、堺市（45）、河南町（86）、その他の教委（50）、一般（183）（）は実証実験参加人数

コンテンツ開発協力：愛知教育大学

システム開発協力：国立情報学研究所

モデル開発概要

現場における課題

教員研修における以下の課題を解決する

- ◆ 教員の自律的で個別最適な学び
- ◆ 教育委員会の計画的な研修
- ◆ 研修受講履歴の管理と活用

モデルの概要

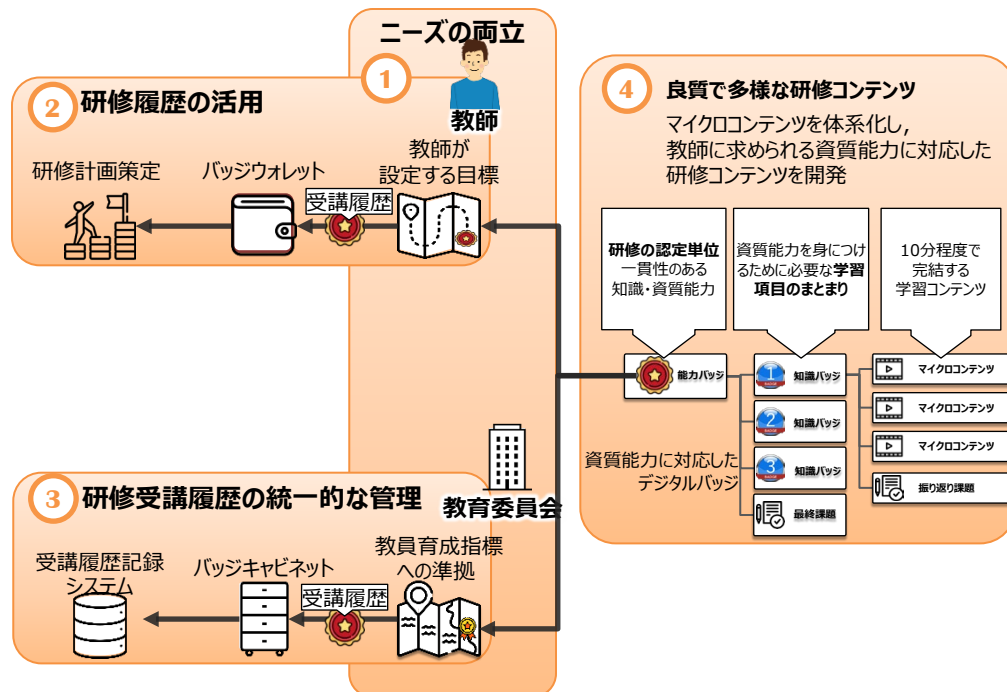
自律的に学び続ける教師を支援するためにデジタルバッジを活用した研修モデルを開発する。

本モデルでは、教師が目標とする資質能力と任命権者・服務監督権者が求める資質能力にデジタルバッジを対応付け、教師の資質能力を向上できる仕組みを提供する。また、バッジウォレットとバッジキャビネットを開発し、受講履歴の一元管理と活用を実現し教師の自律的な学びにつなげる。さらに、大学連携を通じて良質なコンテンツを確保する。

活用する技術・ツール等

- ◆ オンライン研修
- ◆ マイクロコンテンツ
- ◆ デジタルバッジ

高度化に資する取組



モデルを活用する上でのポイントや期待される効果

